



平成26年度

## 酒田市の

# 財政状況を

## お知らせします

お問い合わせ

市財政課財政係 ☎26・5780

市管財課管財係 ☎26・5709

水道局管理課経営管理係

☎22・1812

市立八幡病院事務局

☎64・3311

平成26年度下半期（平成26年10月1日～平成27年3月31日）の執行状況を踏まえて、平成26年度の財政状況をお知らせします。

今回お知らせする金額などは平成27年3月31日現在のものであり、決算額ではありません。市の会計は出納整理期間（4月1日～5月31日）が設けられており、この期間中に平成26年分のお金の出し入れを整理した上で決算額が確定します。なお決算状況は本紙12月1日号でお知らせします。

### 一般会計の予算執行状況（平成27年3月31日現在）

予算現額

# 535億6,104万円

◆グラフの見方

予算科目名（予算構成比率）

収入・支出済額  
予算現額

収入・  
執行率

未収入・  
未執行率

## 歳入 450億3,661万円

### 収入率84.1%（下半期 211億4,603万円）

地方交付税(29.6%)

160億4,621万円 / 158億5,200万円 101.2%

市税(24.0%)

129億6,895万円 / 128億6,450万円 100.8%

市債(13.0%)

3億8,780万円 / 69億7,440万円 5.6%

国庫支出金(11.3%)

46億7,160万円 / 60億1,969万円 77.6%

県支出金(5.4%)

17億7,749万円 / 29億 16万円 61.3%

諸収入(3.9%)

20億7,727万円 / 20億9,321万円 99.2%

地方消費税交付金(2.2%)

12億5,111万円 / 11億9,000万円 105.1%

繰越金(2.1%)

11億2,751万円 / 11億2,751万円 100%

分担金及び負担金(1.3%)

7億2,211万円 / 7億1,534万円 100.9%

その他(7.2%)

40億 656万円 / 38億2,423万円 104.8%

## 歳出 431億9,297万円

### 執行率80.6%（下半期 229億7,681万円）

民生費(28.1%)

131億4,394万円 / 150億6,204万円 87.3%

総務費(18.2%)

60億 957万円 / 97億6,716万円 61.5%

公債費(14.2%)

76億2,123万円 / 76億3,140万円 99.9%

土木費(9.8%)

27億6,492万円 / 52億2,740万円 52.9%

教育費(8.4%)

38億9,001万円 / 44億7,080万円 87.0%

衛生費(8.2%)

42億5,965万円 / 44億 711万円 96.7%

消防費(4.3%)

22億3,870万円 / 22億7,807万円 98.3%

商工費(3.9%)

14億1,714万円 / 20億9,929万円 67.5%

農林水産業費(3.7%)

12億5,745万円 / 19億5,264万円 64.4%

その他(1.2%)

5億9,036万円 / 6億6,513万円 88.8%



## 特別会計の予算執行状況(平成27年3月31日現在)

会計名	予算現額	収入済額(H26.4.1～H27.3.31)		支出済額(H26.4.1～H27.3.31)	
			うちH26.10.1～ H27.3.31収入分		うちH26.10.1～ H27.3.31支出分
交通災害共済事業	2,981万円	4,489万円	2,092万円	2,125万円	1,127万円
国民健康保険(事業勘定)	122億6,358万円	103億6,993万円	59億1,109万円	110億3,302万円	59億1,133万円
国民健康保険(施設勘定)	8,361万円	6,476万円	4,131万円	7,137万円	3,911万円
後期高齢者医療事業	11億6,293万円	11億6,134万円	7億7,368万円	11億5,520万円	7億7,263万円
介護保険	120億3,025万円	108億9,552万円	50億8,998万円	107億3,822万円	58億9,566万円
診療所事業	9,794万円	4,453万円	2,626万円	7,993万円	3,321万円
公共下水道事業	53億 552万円	23億1,236万円	16億2,895万円	43億 391万円	23億5,672万円
農業集落排水事業	11億 483万円	2億6,565万円	1億5,812万円	8億 892万円	4億1,661万円
合併処理浄化槽事業	9,461万円	3,398万円	2,232万円	6,939万円	3,901万円
駐車場事業	2,518万円	2,517万円	1,097万円	2,183万円	1,651万円
定期航路事業	4億4,124万円	1億6,670万円	1億 962万円	4億 352万円	2億6,428万円

## 市債残高(平成27年3月31日現在)

一般単独事業	228億104万円
(うち合併特例事業(市町村合併特例事業分))	157億2,799万円
学校教育施設整備事業	25億685万円
一般公共事業	19億3,438万円
県振興資金	3億6,519万円
公営住宅建設事業	7億6,306万円
辺地対策事業	2億854万円
過疎対策事業	27億5,382万円
臨時財政対策債	168億2,408万円
その他	119億3,421万円
合計	600億9,117万円

## 市有財産(平成27年3月31日現在)

土地	805万7,889平方㍍
建物	51万3,893平方㍍
山林	668万1,689平方㍍
基金	149億 338万円
有価証券	2億2,564万円
出資金・出捐金	8億6,787万円
預託金・貸付金	55億4,258万円
船舶(とびしま、し尿運搬船、飛島海中体験丸)	3隻
自動車	363台

◆基金、車両以外は、平成25年度財産に関する調書の数値です。

地方交付税/国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税のそれぞれ一定の割合で国から交付されるお金

市税/市民税、固定資産税、軽自動車税などの普通税と、入湯税、都市計画税などの目的税がある

市債/返済が一般会計年度を越える市の借金

国庫・県支出金/国や県から使途が特定されて交付されるお金

諸収入/特定の歳入項目に含まれない預金利子、雑入など

繰越金/前年度の決算剰余金

地方消費税交付金/消費税8割のうち1.7割分である地方消費税の一部を財源として、県から交付されるお金

分担金および負担金/市が行う事業により、利益を受ける方から、その受益を限度として徴収するお金

公債費/借入金の元金、利子を返済するための経費

出納整理期間/会計年度末までに確定した収入、支出の現金の未収未払の整理期間で、会計年度終了後の翌年度の4月1日から5月31日までの2か月間。病院、水道などの公営企業会計には出納整理期間はない

## 用語の解説



## 病院事業(市立八幡病院)の概況と経理の状況

### 貸借対照表(平成27年3月31日)

資産	17億6,235万円
固定資産	8億2,377万円
流動資産	9億3,858万円
負債・資本	17億6,235万円
固定負債	3億7,748万円
流動負債	1億4,042万円
繰延収益	1,074万円
資本	12億3,371万円

### 損益計算書(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

総収益	6億8,840万円	うち下半期分 3億4,853万円
医業収益	5億5,208万円	2億7,861万円
医業外収益	1億3,625万円	6,985万円
特別利益	7万円	7万円
総費用	7億8,347万円	うち下半期分 4億5,107万円
医業費用	6億6,762万円	3億6,591万円
医業外費用	2,364万円	1,321万円
特別損失	9,221万円	7,195万円
純損失	9千507万円	

◆平成27年3月31日現在の見込み額です。なお、消費税は含みません。

収益的収支では、入院・外来収益などの総収益が6億8千840万円です。

一方、給与費、材料費などの総費用は、7億8千347万円です。その結果、総収益から総費用を差し引いた9千507万円が純損失として計上される見通しです。

資本的収支では、医療機器等整備の建設改良事業として人工呼吸器や超音波治療器、解析機能付き心電計などの更新導入を行い、建設改良費、企業債償還金で1億1千804万円の支出となりました。支出への充当財源としては、企業債や出資金、補助金の収入1億626万円を充て、なお不足する額1千178万円は、損益勘定留保資金などで補填する予定です。

今後とも、良質な医療サービスの提供と医療環境の整備、地域医療の充実に努めていきます。



▲人工呼吸器

## 水道事業の概要と経理の状況

### 貸借対照表(平成27年3月31日)

資産	266億3,314万円
固定資産	220億4,815万円
流動資産	45億8,499万円
負債・資本	266億3,314万円
固定負債	81億5,813万円
流動負債	14億1,076万円
繰延収益	4億1,553万円
資本	166億4,872万円

### 損益計算書(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

総収益	28億8,110万円	うち下半期分 16億2,985万円
営業収益	26億9,524万円	15億3,044万円
営業外収益	1億8,585万円	9,941万円
特別利益	1万円	0万円
総費用	26億9,949万円	うち下半期分 20億3,825万円
営業費用	24億7,359万円	19億3,165万円
営業外費用	1億9,752万円	1億61万円
特別損失	2,838万円	599万円
純利益(見込み)	1億8,161万円	

◆平成27年3月31日現在の見込み額です。なお、消費税は含みません。

収益的収支では、総収益が28億8千110万円です。うち給水収益や受託工事収益などの営業収益が26億9千524万円、加入金や他会計からの補助金などの営業外収益などが1億8千586万円です。

一方、人件費、物件費、支払利息などの総費用は、26億9千949万円です。その結果、総収益から総費用を差し引いた1億8千161万円が純利益として計上される見通しです。

資本的収支では、老朽管の更新、管網の整備小牧浄水場監視制御設備更新工事、八幡簡易水道の施設整備事業などを実施し、14億4千84万円の支出となりました。支出への充当財源としては、国庫補助金や企業債、出資金などの収入1億8千952万円を充て、なお不足する12億5千132万円については、損益勘定留保資金などで補填する予定です。

今後とも、将来にわたる安定給水の確保に向けて、管網の整備や老朽管の更新などの事業を推進します。

【病院】  
 医業収益／入院収益や外来収益など  
 医業外収益／受取利息配当金や補助金など  
 医業費用／給与や材料、経費など  
 医業外費用／支払利息や雑支出など

【水道】  
 営業収益／給水収益や受託工事収益など  
 営業外収益／加入金や補助金など  
 特別利益／固定資産の売却益など  
 営業費用／浄水費や給水費など  
 営業外費用／支払利息や雑支出など

## 用語の解説

### 【病院・水道共通】

収益的収支／一事業年度の経営活動に伴い発生が予定される全ての収益と費用

資本的収支／将来の経営活動に備えて行う建設改良および建設改良にかかる企業債償還金等の支出とその財源となる収入

固定資産／土地、建物、器械設備、車両など  
 流動資産／現金、預金、未収金、貯蔵品など

固定負債／修繕引当金など、将来の支出に備える準備額  
 流動負債／未払金、未払費用など  
 資本／資本金や剰余金



お替えしなきや〜

## 市議会6月定例会が開かれます

●お問い合わせ／市議会事務局  
議事調査係 ☎26・5770

市議会6月定例会は6月5日(金)から、次の順に行われる予定です。  
1日目／本会議(議案上程、提案理由説明) ▼2日目／本会議(代表質疑、各委員会付託) ▼3日目以降／常任委員会、予算特別委員会、本会議(各委員会審査報告、採決)、本会議(一般質問3日間、議員・委員会提出議案審議)

◆市役所と各総合支所のロビーでは、本会議の模様をテレビモニターで中継するほか、市ホームページでもインターネット中継(実況または録画)を行います。  
◆詳しくは、6月1日(月)開催予定の議会運営委員会で決まりますので、市議会事務局へ問い合わせるか、市ホームページをご覧ください。  
【傍聴について】

本会議、予算特別委員会／原則どなたでも傍聴できます。傍聴希望の方は、市役所4階の議会事務局前にある傍聴受付カードに住所、氏名を記入して議場に入ってください(傍聴者には休憩時の控室を準備)。傍聴席の定員は40人です。団体での傍聴は、事前に議会事務局

局へ問い合わせてください。その他の委員会／原則どなたでも傍聴できません。受け付けは開会予定時刻の30分前から行います。議会事務局で傍聴受付簿に住所、氏名を記入してください。傍聴席の定員は各委員会5人で受け付け順ですが、開会予定時刻の10分前に傍聴希望者が定員を超えた場合は、希望者間の協議や抽選により傍聴人を決定します。

## ふれあいの手紙をお寄せください

●お問い合わせ／市政推進課政策推進係 ☎26・5704

市民の皆さんから、市政に対するご意見・ご要望をお寄せいただく「ふれあいの手紙」を実施します。本紙に折り込みの用紙(封筒として使用できます)でお寄せください。平成28年3月31日までは、切手不要でポストに投函できます。頂いた手紙にはお返事いたしますので、住所、氏名を正確に記入してください。

◆フアクシミリ、インターネットなどでも、市政に対するご意見・ご要望を受け付けています。☎26-3688、Eメールsakata@city.sakata.lg.jp

## 酒田市合併10周年記念

# 第55回私の街さかた写真コンテスト作品募集

●お問い合わせ／市政推進課広報広聴係 ☎26・5706

テーマ／市内での人物、行事、風景、市民生活などの明るい題材(平成26年11月以降に撮影したもの)  
応募部門／一般の部(高校生を除く18歳以上の方)、ジュニアの部(中学生〜高校3年生相当の年齢の方)

◆単・組み写真合わせて一人3作品まで。ジュニアの部は写真部での応募も可。写真部と個人での重複は妨げない。デジタルカメラ可(合成・加工写真は不可)。  
応募方法／11月13日(金)(消印有効)まで、応募票に必要事項を記入して作品の裏にテープで貼り、〒998-8540(住所不要)、酒田市政推進課広報広聴係へ持参または郵送。応募票は同課および各総合支所地域振興課と市内カメラ店にあります

賞／【一般の部】特選／3万円(組み写真、単写真それぞれ1点)、

入選／3点以内2万円、合併10周年記念賞／1点2万円、ふるさと発見賞／1点2万円、ユーモア賞／1点2万円、ドキュメント賞／1点2万円、佳作／5点以内5千円、新人賞／5点以内5千円  
【ジュニアの部】特選／1点1万円相当の図書カード、入選／3点以内5千円相当の図書カード

◆応募作品は、応募者本人が撮影した未発表のものに限ります。二重応募、類似と思われる作品については入賞決定後でも失格とします。  
◆肖像権などの承諾は応募者の責任において取ること。

◆入賞作品の著作権は応募者に帰属しますが、市は広報、ホームページなどに優先的に使用する権利を有するものとします。

◆入賞作品は返却しません(後日ネガ・ポジフィルム、画像データを提出)。

◆入賞作品は本紙で発表し、土門拳記念館などに展示します。